

科目区分：外国語科目（ドイツ語）

授 業 科 目 名	ドイツ語					学 期	曜 日	校 時
英 語 名	German					前 期 後 期	木曜日 木曜日	4 校時 4 校時
担 当 教 員 名	目 正勝	単 位 数	1 単 位	必修 選 択	必 修			
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
初級文法の基礎の上に、エッセイや物語などのドイツ語文章を読む力を身につける。 2冊の教科書を読む。前期は、文法をさらによく理解するために、練習問題をかねた短くまとめられた11篇のドイツ語文章を読む。 後期は、ゴットフリート・ケラー（1819～1890）の短編「幸福の鍛冶屋」（1874）を読む。文法についていくつか焦点をしばってとりあげる。 どちらのテキストも平易なドイツ語で書かれていて、また詳しい注もあるので、自分で辞書を引ながらどんどん読んでゆくことができる。教室では和訳を発表してもらい、それを検討することが中心になる。テープを聞いて単語の発音や文章の朗読の練習もおこなう。								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
テキストは2冊使用する。 『改訂版 中級ドイツ語へのステップ』 平子義雄 著、第三書房 『改訂新版 幸福な鍛冶屋』 長谷川 勉 編、行人社								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 員 研 究 室		
2 E 8 ～ 1 0	定期試験（約90％）、および平素の学習成績、授業への参加状況等（約10％）を考慮して評価する。							
授 業 計 画								
前期は のテキスト。大体1回に1課ずつ（課末の練習問題も含めて）進む。前もって4～5人の人に和訳を割り当てておくので、その人はよく調べて来なければならない。 のテキストの方（後期）は、1回に1ページ半ぐらいずつ読んでゆく。 前期 第一回1課 数詞、形容詞など 第二回2課 動詞の三基本形 第三回3課 冠飾句など 第四回4課 接続法第一式 第五回5課 非人称表現 第六回6課 接続法第二式 第七回7課 分詞 第八回8課 慣用語法 第九回9課 慣用語法 第十回10課 詩のドイツ語 第十一回～第十四回 11課 独作文など 後期 第一回～第十四回 「幸福な鍛冶屋」を読んでゆく（1から33ページ）。 文法では、とくに重要動詞の3基本形、現在完了、接続法、また代名詞の用法などを取り上げる。								